

# ささやき

編集・発行 特定医療法人 明和会 琵琶湖病院  
聴覚障害者外来スタッフ

FAX : 077-579-5487

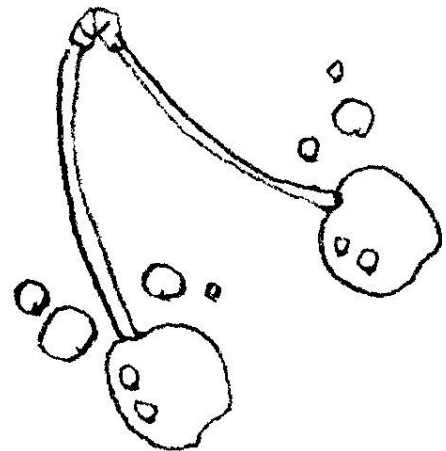
TEL : 077-578-2023

E-Mail : mimi@biwako.or.jp

## 『時を経て』 パート 2

看護師 寺井 元

・・・(ささやき48号参照)と、ここまで聴覚障害者外来とは全く関係の無いことを、くたくたと書いてしまった。これからが本題である。聴覚障害者外来のスタッフの一員として、早12年が過ぎてしまった。聴覚障害者に対するコミュニケーション手段として、手話を度々用いるが、私の手話に対するスタンスは、「ブロークンで構わない。あれこれ考えてモタモタするより、知っている単語を総動員させ、とにかく通じれば良い。」というものであった。これは、私が海外をフラフラ旅して廻った経験側から自然とそう思い込んでしまったのであろう。例えば、インドで go・went・gone などと日本の学校で習った英文法とやりに忠実に従って喋ったならば、10人中8人のインド人に確実にバカにされる。「I went・・・yesterday」などと言おうものなら、寄ってたかって「You go yesterday やろ」と訂正され大笑いされることは確実である。ということで、看護で手話を使う場面でも非常にブロークンな手話を使い、そのみならず勝手に手話を作って患者さんに押しつけたこともあった。通じればいいんだと全く無反省ですらあった。しかし、昨年患者さんの他科受診の付き添いをした時、患者さんの妹さんにこっぴどく叱られた。妹さん曰く「あなたの手話は手話表現の区切りが流れがちで分かりにくい。それに表情が伴っていない。手話は速ければいいものではない。いいかげんな手話を速くされると本当に分かりにくい。」と。赤面し、素直に反省した。自分の思い上がりに気付くのに12年間を要してしまった。今まで私の身勝手な手話に辛抱強く付き合ってくださった多くの患者さん、本当にすみませんでした。これからは謙虚で、今より正確な手話表現を心掛けますので許して下さい。



### 最近のトピックス

#### 最近のトピックス

☆ 3月15日、医師の藤田が、北海道新得町にある(社福)厚生協会さずなの里の職員研修会で「聴覚障害者の認知症を考える」をテーマに講演を行いました。

同協会が昭和20年代から建設を始めて現在、身体障害者入所・通所授産施設や聴覚障害者養護老人ホームなど多くの施設を運営している新得町は、人口7000人のうち約200人が聴覚障害者で、手話で話すことが日常風景となっている「手話の町」として知られています。当日も施設の職員ばかりでなく、役場、社会福祉協議会、聴覚障害者団体、手話サークルなどの人たち120名が参加していました。

## 『聴覚障害者であるK氏の関わりを通して』

看護師 笹田京子

私は以前から聴覚障害者に対して興味を抱いていました。身体にハンディを持った上に聴覚障害を持つK氏にとっては、二重の苦しみであると思います。身体の痛み・自分の思いを『誰かに理解して欲しい』という要求は健全者よりも強いものであると思います。はじめは、コミュニケーションがお互いに出来ず、K氏はイライラして凶暴な行動もあり、よく物にあたっていました。

内科病棟では、朝の申し送り後15分間程時間を設けて、手話を病棟で学習しています。手話に対してスタッフの意識が高まってきたところの良い時期に、聴覚障害を持つK氏の入院がありました。より一層、看護に手話が必要となり、みんな一生懸命にK氏の訴えを聴きとろう、理解しようとする姿勢を持ち、少しずつ手話がつかえるようになりました。

お互いに理解しあえた時のK氏の笑顔は最高であり忘れられない思い出です。よくK氏が発していた『皆平等』という言葉にあてはまるのではないのでしょうか？

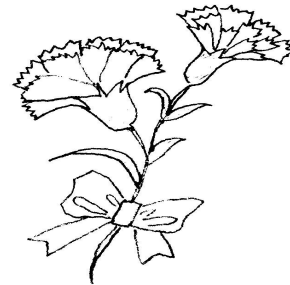
弱い立場にあり身体も心も病んでいる状態である時、私たちは、つつい業務におわれ、K氏の心は満たされないままで終わってしまったのではないかと思ったりしています。ゆとりをもって傾聴する事の意義を改めて学ぶことが出来ました。これから、聴覚障害をもつ方が入院したときには、スムーズにコミュニケーションがもてるようにスタッフ一同、このまま手話を継続し学んでいきたいと思っています。

### 『手話で会話したいな』

受付 砂田 美香

しばらく休んでいた手話サークルに最近参加し始めました。私ができる手話といえば「おはようございます」だけなのですが、藤田先生は返して下さり嬉しく通じたという実感があります。

受付にいと、聴覚障害をもつ患者さんも来られ、メモに書いて会話をすることがあり、通じないときは他スタッフに頼ることもあります。患者さんも安心されるのか笑い声が聞こえたり楽しそうに会話されていて、私ももっと覚えたいという気持ちになりました。少しづつだけ頑張ります。



### 『手話を身近に感じて』

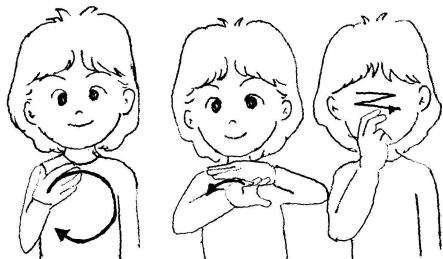
受付 山崎 敏美

先日接遇の研修で、挨拶について勉強してきました。人と人が触れ合う中で一番大切なことは笑顔だと聞き、言葉を発して話せる方の中でも当たり前前にできていない中で、手話では手やしぐさや表情などあまりにも豊かで心がこもっていて一番に笑顔が素直に出ていることが素敵だなあ、と感じました。

手話サークルに参加して、何か自分のプラスになることが見つけられそうなので、また喜んで参加させていただきます。

しでも早くコミュニケーションが取れるように頑張ってください！！

## ～わんぽいんと手話～



<体重測定>

手のひらを胸の前で回し、横にした左手の下を右手でスライドさせる。次に右手の二本指を顔の前で絵のようにスライドさせる。

【編集後記】

快く原稿依頼を引き受けて下さり、ありがとうございました。無事に今期を終えることが出来ました。(中)